北海道釧路湖陵高等学校　平成30年度　学校評価アンケート《学校関係者評価》

【学校の現状について】A:そう思う、B:どちらかといえばそう思う、C:どちらかといえばそう思わない、D:そう思わない

番号	評価項目		評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	平均	備考
1	本校の教育目標やめざす学校像、生徒像は、保護者や地域の願いを踏まえた適切なものである。	全	4	1				教育目標
		定	4	1				
2	本校は、保護者・地域に対して学校の情報提供に努めている。	全	4	1				学校運営
		定	4	1				
3	本校は、安全で安心できる場所として教育活動が行われている。	全	5					
		定	5					
4	本校は、保護者・地域の意見や要望を取り入れて、連携した教育活動を行っている。	全	3	2				学習指導
		定	2	3				
5	本校は、特色ある教育活動を実践できている。	全	4		1			
		定	4	1				
6	本校の教育活動は、生徒個々が抱えている悩みやいじめなどの課題に適切に対応している。	全	3	2				生徒指導
		定	4	1				
7	本校の部活動や学校祭などの生徒会活動は、生徒の幅広い豊かな人間性を育んでいる。	全	4	1				
		定	4	1				
8	本校の進路指導は、保護者・地域の期待に応えている。	全	2	3				進路指導
		定	3	2				
9	本校の進路指導は生徒個々の適性・能力に合った進路目標を持たせ、その実現を図る指導が適切に行われている。	全	4	1				
		定	4	1				
10	本校は生徒の健康安全や危機管理に対して十分に対応できている。	全	3	2				健康安全指導
		定	3	2				

＊評価について、特に説明などがあれば、記述願います。

・全・定ともに目標の実現に向けての努力が着実に効果を上げている。ただ、昨年のブラックアウトを踏まえ、安全管理、危機管理の見直し、改善を図っていただきたい。また、開発的、予防的教育相談の充実が肝要と思われる。
・保護者、地域の方々の思いはさまざまであり、進学校において「８」をＡにするのは困難である。
・高等学校は保護者や地域の願いを叶えるためにそんざいしているわけではないので、本校ならではの独立性、独自性も大切だと思います。

【評価の適切さ】A:そう思う、B:どちらかといえばそう思う、C:どちらかといえばそう思わない、D:そう思わない

			A	B	C	D	平均
1	目標達成に向け適切な取り組みが行われている。	全	4	1			
		定	4	1			
理由意見	・ＰＤＣＡサイクルを踏まえて実施されている。 ・目標が職員全体に共有され、取り組みが行われている。 ・お忙しい中、様々な取り組みをされ頭が下がる思いです。						
2	・評価結果は適切に分析されている。	全	4	1			
		定	4	1			
理由意見	・数値にとらわれすぎず、ポイントをおさえて、次年度に向けての分析となっている。 ・具体的な事実から評価がなされている。						
3	今後の改善方策は適切である。	全	4	1			
		定	4	1			
理由意見	・育成を目指す資質・能力の明確化の意識付けと具体的動きに期待。 ・成果と課題が明らかにされており、充実を期待している。						

上記以外に、本校の教育活動・生徒・教職員について要望・意見があれば、記述願います。

・アクティブラーニングによる授業改善が教育活動を前進させると考えます。進路指導、生徒指導の根幹は「授業」にあります。全・定ともに生徒に対応された授業、自身の進路ステップを着実に踏める指導をお願いします。ただ、先生方や事務職員を含め、心身を大切にしていただきたい。「ゆとり」や「間」のない所には伸びしろは無理です。子ども達の笑顔を支える教育活動、今後も期待しております。
・地域連携や先従のために、というと聞こえは良いのですが、仕事も多く複雑になる、本来の学業や集団生活、自我の確立があとにまわりがちになります。注意したいです。
・教職員の皆様の定時退勤、学校の長期休業日日数増加は西堀校長のもと、是非進めて頂きたいと思います。